

夢への挑戦



令和3年度 小野部田小学校 学校通信 第5号

文責 校長 三牧 公久

学校ホームページ <http://es.higo.ed.jp/onoheta/>

前期後半がはじまるにあたり！～心を磨き、志を育む～

長かった夏休みも終わりました。今年は、コロナ禍で活動が制限されたことに加え、8月中旬の連日の大雨と異例づくしの休みとなりました。また、新型コロナウイルス感染症の第5波の到来で、夏休み明けの学校はどうか心配されている保護者・地域の方もたくさんおられることと思います。本校は、学校メールでお知らせしたように、予定通りの開始となりました。感染対策につきましてはこれまで以上に最善を尽くしてまいります。ご心配なこと等ございましたら学校まで連絡されてください。精一杯対応させていただきます。

話は変わりますが、この夏は、5年ぶりにオリンピックが開催されました。さらに、現在はパラリンピックも開催されています。今回のオリンピックでは、10代前半の選手がメダルを獲得するなど、特に若い世代の活躍がこれまでになく際立っていました。この選手たちは本学校便りのタイトルにある「夢へ挑戦し目的をなしとげた人」とも言えます。このように選手が世界を舞台に活躍できるようになるためには、高い志をもち心身ともに鍛錬する日々の積み重ねがあったことと思います。前期後半が始まるにあたり、今日の集会では、これまで同様、目標を持ち日々の生活を充実させていくことをがんばるように話しました。本校の児童達にも「心を磨き、志を育む」毎日を過ごし、たくましく成長してほしいと願っています。コロナ禍であっても、日々の授業・生活・行事を大切に、子供一人ひとりの伸ばすべきところは伸ばし、正すべきところは正し、一步一步成長できるようにしていきたいと考えております。



お互いを大切にするために！

人権とは、「全ての人生まれながらに等しく持っている権利」であり、人権を侵害することは、相手が誰であろうとも、理由を問わず決して許されることではありません。

最近の社会問題の一つとして、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、実生活やインターネット、SNS等での感染者やそのご家族、他県から来られた方に対して誹謗中傷の言動を浴びせるといった問題が出てきています。これは、偏見に基づいた差別であることは言うまでもありません。現在、感染が急拡大している新型コロナウイルス第5波では、これまでと違い、小中学生での感染が急増しています。小野部田小学校でも学校関係者に感染者がいつ出てもおかしくない状況となってきています。安心安全な学校づくりのためにも、学校から感染者を出さない取組を行うことに加えて、感染者や濃厚接触者の方々への誹謗中傷や差別（根拠のないうわさや不確かな情報を流す・同調する、ワクチン接種（本人の希望であり任意）の有無で差別的な言動をあげせるといったこと）を出さないこともとても大切なことです。今日の夏休み明け集会でも子供たちにこのことについて話しました。互いを思いやり大切にする小野部田小学校でありたいと思います。ご家庭でもご指導よろしく願いいたします。



最近の学校の様子

夏休み中に図書室に子供たちがテーブルに座って本を読みやすいように畳をテーブルの周りに敷きました。夏休み明けもたくさん本を読みましょ。また、5年生が総合的な学習の時間の勉強で育てている観察用の稲も夏休み中に先生方がお世話され順調に育っています。



9月の行事予定

- 1日（水）校内研修 3日（金）うきうき号来校
- 6日（月）身体測定週間
- 7日（火）あいさつ運動（中小野1班）
- 8日（水）校内研修
- 10日（金）水俣に学ぶ肥後っ子教室（オンライン）
- 14日（火）あいさつ運動（中小野2班）
- 15日（水）校内研修
- 21日（火）あいさつ運動（中小野3班）
- 22日（水）職員会議 24日（金）授業参観
- 28日（火）あいさつ運動（耕地1班）クラブ活動

※火曜日：フッ化物洗口（新型コロナウイルス感染状況を考慮し実施の可否を決めます）

